

第3号様式 (第13条)



函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和 3年(2021年) 3月 31 日

函館市長様

住所 函館市西桔梗町589番地39

申請者 氏名または団体名 昭和製菓株式会社
および代表者氏名 田口 輝

令和 2年(2020年) 10月 30日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和 3年(2021年) 3月 31日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

1 補助対象事業の種類 (該当する番号を○で囲むこと。)

- (1) 専門家派遣型IT・ロボット等設備導入支援事業
(2) IT・ロボット等活用共同研究支援事業

2 補助対象事業の名称 HACCPに準拠した生産管理システム構築による生産性の向上

3 補助金等交付決定通知額 金 2,810,000円

4 補助金振込先 (申請者の口座)

銀行名	支店名	口座の種類	口座番号
██████████	██████████	██████	██████████
口座名義	(カナ) ██████████		
	██████████		

5 実績書 別紙1のとおり

6 収支決算書 別紙2のとおり

実績書

事業の名称	HACCP に準拠した生産管理システム構築による生産性の向上										
実施内容	<p>●出荷指示システムの改良によるデータの共通化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用していた出荷指示システムは改修が難しい状況であったため、同等の機能を有する在庫管理システムを導入した。 <p>●在庫管理システムの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品情報を詳細にデータベース化することで、商品のトレーサビリティを確保した。 ・在庫（製品、半製品、資材、原料）を一元管理することで生産計画や製造指示の効率化を図った。 <p>●日報作成などの記録体系の見直し及び紙媒体から電子化への移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日報等記録をデジタル化し、タブレットの活用することで作業効率が格段に向上した。 ・電子化により帳票の保管や管理が簡便化した。 										
期待される効果	<p>「受注」「生産組立」「製品在庫」「原料・資材在庫」の各工程を連動することで、効率的な生産計画、計画的な発注業務のほか、賞味期限管理を行う事が可能になることから、さらなる労働生産性の向上が見込まれる。</p> <p>参考まで、以下のような効果予測値が期待できる。</p> <p><効果予測値></p> <table border="1" data-bbox="647 1552 1385 2060"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施前</th> <th>実施後</th> <th>効果</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在庫確認時間 (生製品、半製品、製品)</td> <td>30～60分 /日×3名 (包装場2名、倉庫1名)</td> <td>30分程度/ 週×3名 (包装場2名、倉庫1名)</td> <td>月間最大約54時間の削減</td> <td>在庫確認時間 (生製品、半製品、製品)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実施前	実施後	効果	項目	在庫確認時間 (生製品、半製品、製品)	30～60分 /日×3名 (包装場2名、倉庫1名)	30分程度/ 週×3名 (包装場2名、倉庫1名)	月間最大約54時間の削減	在庫確認時間 (生製品、半製品、製品)
項目	実施前	実施後	効果	項目							
在庫確認時間 (生製品、半製品、製品)	30～60分 /日×3名 (包装場2名、倉庫1名)	30分程度/ 週×3名 (包装場2名、倉庫1名)	月間最大約54時間の削減	在庫確認時間 (生製品、半製品、製品)							

	棚卸作業 時間	3～4 時間 /月×4名 (工場 1 名 , 加工場 1 名, 包装場 1 名, 倉庫 1 名)	2 時間/月 ×4名 (工場 1 名 , 加工場 1 名, 包装場 1 名, 倉庫 1 名)	月間最大 約 8 時間 の削減	棚卸作業 時間
	原料在庫 確認時間	30～60 分 /日×2名	30 分程度/ 日×1名	月間最大 約 30 時間 の削減	原料在庫 確認時間
	原料・包 装資材の 在庫数把 握	伝票を集 計	在庫残高 照会	計画的な 発注業務	原料・包 装資材の 在庫数把 握
	原料・包 装資材の 賞味期限 確認時間	30 分/日 ×2名	15 分/日× 2名	月間約 10 時間の削 減	原料・包 装資材の 賞味期限 確認時間
	日報下書 き時間 (現場記 録収集)	30 分/日 ×2名	作業無し	月間約 20 時間の削 減	日報下書 き時間 (現場記 録収集)
	日報作成 時間	30 分/日 ×2名 (工場 1 名 , 包装場 1 名)	5 分程度/ 日×2名 (工場 1 名 , 包装場 1 名)	月間約 16 時間の削 減	日報作成 時間
<p>※効果における月間削減時間＝延べ労働時間 ※月間稼働日数を 20 日として計算</p>					

<p>今後の展開について</p>	<p>出荷指示システムの改良によりデータが共通化され他部署間との情報交換や情報収集が容易になった。 又、在庫管理システムの導入や記録体系が見直され作業者の労働生産性が向上しており、社員教育が充実し社員のモチベーションも向上している。 商品開発体制も充実した為、更なる売上向上に繋がっていく。</p>
<p>研究者の協力内容 (共同研究支援事業の場合)</p>	<p>なし</p>

- (注) 1. 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)
2. 導入した商品の写真および概要のわかる資料ならびにその他必要と認めた書類を添付すること。

収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
自己資金	2,810	2,810					
市補助金	2,810	2,810					
合 計	5,620	5,620					

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
生産管理シ ステム一式	4,983	4,983					
入力用タブ レット端末	139	139					
付属品	53	53					
システム導 入費	250	250					
試験調整 費	147	147					
端末設定 費	48	48					
合 計	5,620	5,620					

収支差引額

0円

注) 1. 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。